

日高軽種馬たより

HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和6年11月20日

第 **411** 号

オータムセールも引き続き高い売却率を示す

10月15日～16日、オータムセールが開催された。本年は339頭が上場、281頭が取引となり売却率は82.89%、売上総額は11億2,431万円（以下、すべて税込）、平均価格は400万円、中間価格は352万円だった（比較については3頁参照）。売却率、平均価格、中間価格はレコードを記録する結果となった。最高取引価格となったのは上場番号229番スペリオルダンサー2023（牡・三石・田中春美（敬称略。以下同じ））の2,035万円だった。

迎えた初日は188頭の上場で162頭が売却と、終始堅調な取引となり、売却率は86.17%と高い売却率を記録した。大手牧場の上場も加わり、上場番号52番ピースバーグ2023（牝・胆振・（有）社台コーポレーション白老ファーム）が初日の最高価格となる1,540万円を取引となった。本馬の父はJRA2歳リーディングサイアー上位で、芝・ダート問わず活躍馬を輩出しているナダルで、全体の牝馬最高価格馬となった。この日の牝馬最高価格馬は上場番号36番のスイートスズラン2023（門別・シンボリ牧場）が1,375万円を取引となった。

再申込馬のみで構成される2日目は、151頭の上場で119頭が売却となり、売却率は78.81%を記録した。今年度はセレクションセール主取、欠場馬はセプテンバーセールに再申込が可能となっており、その影響からオータムセールでは頭数が減少した。

この日はサマーセールでは欠場となっていた上場番号229番スペリオルダンサー2023（牡・三石・田中春美）が2,035万円での取引となり、全体の最高価格馬と高評価を受ける結果となった。本馬の父は初年度産駒からJRA2歳新馬勝ちや、地方交流重賞勝ち馬を輩出するなど活躍をみせているモーニン。この日の牝馬最高価格馬は上場番号294番ルミノハレブタイ2023（胆振・（有）笹川大晃牧場）が1,155万円を取引となった。他にも再申込にて評価を変えた上場馬が多く、良い結果となった。

古川組合長は「セプテンバーセールまでにかなり購買して頂いたなかで、上場頭数減もあり少し落ちるかと思いましたが、売却率が維持され、2日目も購買できなかった方を中心に最後まで購買参加して頂き、年間でも80%を超える売却率になり良かったと思います。」と振り返った。



最高取引価格馬：スペリオルダンサー2023
三石・田中春美

北海道市場 1年を振り返って

トレーニングセール／売却率3年連続70%超え。

札幌競馬場でおこなわれたトレーニングセールでは、上場頭数が86頭と寂しい印象となったが、活況の続く1歳市場の需要の影響を受けた形と言える。その中で欠場馬が4頭と出場率は過去最高を記録した。公開調教では、時折吹く強風の中でも、各馬が好仕上がりをアピールし堅調な取引につながった。

結果は、総売上額は4億6,574万円、平均価格763万円、中間価格627万円、売却率70.93%を記録した。なお、ヴァッサーマン2022（新冠・村上欽哉（敬称略 以下同じ））が最高取引額となる2,750万円で取引された。

セレクションセール／初の試みプレミアムセッションを実施。初日の売却率94.78%を記録。23年ぶり1億円落札馬も誕生。

セレクションセールでは、今年初めて実施されたプレミアムセッションを初日に据え、選抜された上場馬の中でより厳選された140頭、2日目は180頭、3日目は179頭のカタログで3日間開催となった。484頭が上場となり、リーディングサイアー上位のキズナ、ロードカナロア、といった産駒や注目の初年度産駒が上場し、終始大盛況となった。

結果は、初日プレミアムセッションでの総売上額は35億9,260万円、平均価格は2,828万円、売却率は94.78%となった。3日間での総売上額は79億1,736万円、平均価格は1,921万円、中間価格1,540万円、売却率85.12%となった。最高価格馬はスターズアイランド2023（荻伏・(有)笠松牧場）の1億1,000万円の取引となり、北海道市場では23年ぶりの1億円超の落札馬誕生となった。

サマーセール／6日間開催、過去最高の売却率82.31%を記録。

1日の上場頭数を調整し6日間開催となったサマーセールは、実にバラエティに富んだラインナップとなり、高い売却率を誇った本セールでは、ダート傾向のある種牡馬産駒が多く取引された。

結果は、1,187頭が上場し、総売上額は71億3,460万円、平均価格730万円、中間価格572万円、売却率82.31%となり、売却率はサマーセールの過去最高を記録した。最高価格馬となったのはヘニーヒューズ産駒のレディマドンナ2023（牝、静内・(有)グランド牧場）の5,280万円だった。ヘニーヒューズ産駒に関しては、牡馬でも最高取引価格馬となり、ダンシングロイヤル2023（新冠・村上欽哉）で3,520万円だった。

セプテンバーセール／2日目の売却率が85.80%を記録。全体の売却率は80%超え、過去最高を記録。

セプテンバーセールでは、3日間の開催が定着しつつあり、534頭が上場した。多彩な種牡馬産駒が揃うなか、セプテンバーセールでも10頭以上上場された種牡馬の中で、高い売却率を記録した産駒が誕生。なかでもモーニン産駒は16頭上場、ゴールドドリーム産駒が10頭上場で100%の売却率となった。ほかにも100%には届かなかったが、13頭上場し12頭取引となったルヴァンスレーブ産駒、12頭上場し11頭取引されたダノンプレミアム産駒など多数の上場で、高い売却率を記録した。

結果は、総売上額22億5,522万円、平均価格は525万円、売却率は80.34%で、歴代最高となった。最高落札額となったのはアンジェリーブル2023（静内・(有)グランド牧場）の2,750万円だった。

オータムセール／初日の売却率は86.17%を記録。全体の売却率は82.89%と過去最高を記録。

オータムセールは、新規申込馬188頭、再申込馬151頭の計339頭が上場となり、2日間の開催となった。

ここでは2日目上場のスペリオルダンサー2023（三石・田中春美）が最高価格馬となった。1日目にもピースバーグ2023（胆振・(有)社台コーポレーション白老ファーム）が1,540万円で取引など高額馬が誕生した。

結果は、売上総額は11億2,431万円、平均価格は400万円、中間価格は352万円だった。売却率、平均価格、中間価格はレコードを記録。82.89%売却率を維持したことで概ね堅

調な売上となった。

今年の売上総額は過去最高だった昨年より1億3,000万円増の188億9,723万円の売上を記録した。1歳市場を中心に、改めて購買熱の高さを感じる1年となった。

古川組合長は「今年はプレミアムセッションの実施やサマーセールを1日の上場頭数を制限し6日間開催にするなど、新たな試みが多かった年となりましたが、1歳馬市場ではトータルで前年を上回る売上額となり、また売却率に至っては、史上最高の数字となりました。来年の日程なども今後検討していくなかで、来年も引き続き皆様にご来場して頂けるような市場を維持していきたいと思えます。」とこの一年を振り返った。

【オータムセール 5年間の比較】

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
平均価格	↗ 4,001,103	↗ 3,977,000	↗ 3,926,231	↗ 3,646,436	↗ 3,451,890
中間価格	↗ 3,520,000	↓ 3,135,000	↗ 3,300,000	↓ 2,970,000	↗ 3,190,000
出場頭数	↓ 339	↗ 435	↓ 426	↓ 457	↗ 466
売却頭数	↓ 281	↗ 330	↓ 329	↓ 348	↗ 365
売却率	↗ 82.89%	↓ 75.86%	↗ 77.23%	↓ 76.15%	↗ 78.33%
売上総額	↓ 1,124,310,000	↗ 1,312,410,000	↗ 1,291,730,000	↗ 1,268,960,000	↗ 1,259,940,000
購買登録者数	↓ 1077(71)	↓ 1086(55)	↗ 1095 (65)	↗ 1058 (62)	↗ 1,004
購買実数	↓ 245	→ 258	↗ 258	↓ 242	↗ 243

※ 単位（円、頭、名）、価格は税込、矢印は前年対比
 ※ 令和3年からの（）内はオンラインによる登録者数

【北海道市場 5年間の比較】

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
平均価格	↗ 8,748,718	↗ 8,678,756	↗ 8,021,238	↗ 7,331,614	↗ 7,004,016
出場頭数	↓ 2,630	↗ 2,746	→ 2,629	↗ 2,629	↓ 2,362
売却頭数	↓ 2,160	↗ 2,162	↗ 2,059	↗ 1,983	↓ 1,825
売却率	↗ 82.13%	↗ 78.73%	↗ 78.32%	↓ 75.43%	↗ 77.27%
売上総額	↗ 18,897,230,000	↗ 18,763,470,000	↗ 16,515,730,000	↗ 14,538,590,000	↗ 12,782,330,000

※ 単位（円、頭）、価格は税込、矢印は前年対比

米国獣医師による レントゲン画像の見方に関する講習会のお知らせ

日 時 : 令和6年11月28日(木) 17時~19時
会 場 : 新冠レ・コード館 町民ホール
対 象 : 軽種馬生産者等 (どなたでも参加できます)
講 師 : エリザベス・サンチ獣医師 (米国)
演 題 : 『若齢サラブレッド競走馬における球節、腕節、飛節、後膝のX線画像の見方について』
(仮題)

※参加無料/事前申し込み不要/通訳つき

詳細についてはJ B B A 静内種馬場軽種馬生産技術総合研修センターまでお問い合わせください。
TEL : 0146-46-8008 (担当: 関)

助成金申請種類提出のお願い (レポジトリー・せり馴致預託料)

助成金申請書類の提出期限は12月9日(月)です。
期日を過ぎた場合、補助金交付の対象外となる場合がございますのでご注意ください。

レポジトリー

- 申請書
- 撮影料請求書 (合算の請求書でも問題ありません) ・金融機関振込控

せり馴致預託料

- 申請書
- 預託料請求書・金融機関振込控
- 預託契約書の写し (押印についてご確認ください)

※FAX (0146-43-3464) での提出も可能です。
お問い合わせは 軽種馬農協 業務部 (0146-42-1200) までお願いします。

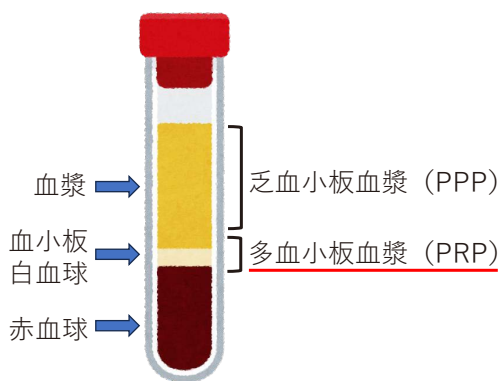
多血小板血漿 (PRP) を使用した治療について

門別診療所 富里 美緒

2024年4月に入社しました富里美緒と申します。まだまだ勉強中の身ではありますが、よろしくお願いいたします。

入社してから瞬く間に時が流れ、半年が過ぎました。この間に色々な症例や治療方法について勉強させていただき、中でも多血小板血漿 (PRP) を使用した治療が非常に面白いと感じたので、今回はそのお話をしたいと思います。

まず、PRPとは血液を遠心分離し、赤血球や液体成分をできるだけ除いて得られる血小板濃度の高い血液のことを指します。



血小板には止血機能以外にも、組織修復を助ける機能があり、PRP療法はこの機能を利用して治療を促進する治療法です。人医療において1990年代から行われ始め、現在では犬・猫、牛、そして馬の獣医療にも広がっています。馬でよく行われる方法としては、採血を行い、血小板を濃縮した後に凍結・融解などを行って血小板を物理的に破壊し、中の物質を放出させて使用します。治療を受ける馬自身の血液を使用していることから比較的安全性が高く、他の再生医療に比べて作製が簡単なため、臨床現場でも使用しやすい治療法です。

馬の分野においてPRPの効果は使用目的によって賛否両論ありますが、屈腱炎などの腱・靭帯の損傷や筋肉の損傷に対して使用し、効果が確認された報告もいくつかあります。この治療では腱や靭帯などの損傷のある部分に直接PRPを1回注入し、腱や靭帯の再生を促進することを目的としています。PRPを注入しても長い休養期間が必要なことに変わりはありませんが、腱や靭帯などの修復にかかる時間が短く、元の状態により近い形で再生すると言われており、休養のみに比べると再発防止やパフォーマンスの向上が期待できます。

また、最近では角膜損傷や角膜穿孔などの目の傷にも使用され始めています。実験室の中での話になりますが、馬の目から採取した角膜の細胞をPRPと共に培養すると非常に早く細胞が増えるという報告がされています。このことから重症度の高い目の疾患に対してPRPを使用している先生方も当組合にいらっしゃいます。この治療は目薬と同様にPRPを点眼することで治療ができるので、重症例で行われるような結膜フラップメントや持続点眼装置の留置などの大がかりな処置の前に実施できるのが利点です。

今回紹介させていただいたPRP療法はまだまだ発展途上な分野ではありますが、不治の病と言われる屈腱炎や目の疾患など、競走馬生命に関わる病気の治療として非常に期待されている治療法と感じます。さらに今回ご紹介できませんでしたが、傷の治療にPRPが使用されることもあり、様々な病気に応用されています。今後治療等で質問などありましたらお近くの獣医師にご相談ください。

馬鼻肺炎による流産発生等の連絡について

日高管内で馬鼻肺炎による流産や生後直死等が発生した場合には、各町の軽種馬生産振興会を通じて、文書で組合員の皆様にお知らせしておりましたが、日高家畜保健衛生所のホームページに発生情報が随時掲載されておりますので、今後はそちらをご参照ください。

日高家畜保健衛生所ホームページ

<https://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/>



日高家畜保健衛生所

お知らせ

[食肉への注射針の残留事故が発生しました](#)

馬の寄生虫卵検査を依頼される方は[こちら](#)

日高管内の伝染病発生状況は[こちら](#)

令和6年4月から死亡牛のBSE 検査対象区分が変更になります

[死亡牛BSE検査対象確認フローチャート \(PDF 181KB\)](#)

馬鼻肺炎発生情報 (R6シーズン)

R6.4.2 新ひだか町1戸1頭 (生後直死)

R6.4.1 新ひだか町1戸3頭 (1頭流産、2頭生後直死)

R6.3.29 新冠町1戸1頭 (生後直死) *

R6.3.14 新冠町1戸1頭 (流産) *

R6.3.5 新冠町1戸1頭 (流産)

日高家畜保健衛生所メニュー

- 注目情報
- 伝染病などの情報
- 発表・広報など
- 手数料一覧・申請書様式
- 各検査日程
- 業務内容
- アクセス

PAGE TOP

家畜共済加入馬(HBA診療分)支払共済金の直接払いについて

HBA獣医師が診療した家畜共済加入馬の支払共済金につきましては、北海道農業共済組合(NOSAI北海道)からの直接払いに変更となりました。詳細につきましては、お近くのNOSAIまたはHBA本支所へお問い合わせください。